



それぞれの働き方Fiiie

介護の仕事にやりがいとは？

実際に福祉の現場で働いている人にインタビューしてみました。普段なかなか聞けない「生の声」をぜひ仕事選びの参考にしてみてください？

File① 自身の心を充実させる

ツクイ川崎麻生 五十嵐弘弘ひろひろさん

ツクイ川崎麻生で所長を務める。介護保険制度が改正されるタイミングでツクイがヘルパーの養成講座を行っており、そこに参加したのが、同社に入ったきっかけだ。それまでは全く畑違いの仕事をしてきたが、約10年前「介護という事業が

これから発展していくのを務める。介護保険制度ではないか。男性の職員が少なかった当時、男性の力が必要になってくるのではないかと思った」と振り返る。

「心身ともに元気でいること」を心がける。「特に心の部分が大切。自分たちの心が充実していな



いと、いい介護はできませんからね」と微笑む。「自分自身の心がぶれると、周りのみんなもぶれてしまいます。常に元氣よく、明るく振る舞うようにしています」とチームを引っ張っていく。

File③ メリハリの大切さ

東華会 竹本寛善さん

県内に9つの介護施設を運営する医療法人東華会の部長を務める。「小規模多機能施設あさお」や「グループホーム サリユールあさお」のマネジメントと運営が主な仕事だ。

「初めは特養などの施設で介護職員をしながら



長く仕事を続けるための秘訣は「24時間ずっと仕事というわけではありません。仕事には120%で取り組んで、プライベートとの二面性をもたせることが大切ですよ」と語る。「職員にもやりがいをもって一丸となって、仕事に取り組んでもらいたいです」

File② 「介護のイメージ変えたい」

さくららの丘 笠原将太さん

幼い頃から両親が介護の仕事をしてきたため、「何か手助けができないか」と思い、介護の道を目指した。

働き始めて4年目となる職場「アイサーブ&コミュニティサロン」さくららの丘」はアットホームな雰囲気。利用者からは

「まるで実家に帰ったかのよう」という声もある。「利用者さんに、孫のよう

に、マニュアルとかではなく、柔軟に対応していきたい」と笠原さん。



「介護職には『地味』や『つらい』などのイメージがありますが、変えていきたいです」と熱く語る。高齢化社会の中、介護という仕事は社会貢献を目に見えて実感することができるといふ。もっと幅広い方々に働いてもらいたいです」

File④ 笑顔で入居者の夢叶える

金井原苑 神七恵じんしちえさん

第一子を出産した10日後、実母が脳出血で倒れ寝たきりに。子育てだけでも手が届かない状況だったため、ヘルパーなどに来てもらい、身体介護やシーツ替え、訪問入浴などを頼んでいた。「その時は本当に助かりました」。恩返しがい

たいと思ひ立ち、1年半ほど前、主婦から全く経験のない介護の世界へ。日々、入居者とのコミュニケーションを大切にしながら、入居者の楽しみを提供できたらと奮闘す



る。「入居者の方の『がんばって』『ありがとう』という言葉で元氣になります。入居者さんたちの好きなことがやれる1日をつくって外出するなどして、夢を叶えてあげることが目標です」。入居者や仲間たちと触れ合う楽しさを感じながら、今日も苑内を駆け回る。